石川県七尾美術館だより

令和元年7月1日発行
編集・発行　(公財)七尾美術財団

第98号(夏号)

①

④

②

③

大正ロマンとモダンデザイン

～大正イマジュリィの世界～

①橋口五葉『NIPPON　YUSEN　KAISHA』
　(日本郵船欧州航路パンフレット)1914～15年
②小林かいち「絵はがきセット」《二号街の女》1925～26年頃
③杉浦非水『非水図按集』第1集　1915年
④斎藤佳三(表紙)『魔王』(セノオ楽譜243番)再版　1924年

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

展覧会紹介

2019年7月1日(月)～9月16日(月・祝)
休館日については裏表紙をご覧ください

「大正ロマンとモダンデザイン ～大正イマジュリィの世界～」

8月3日(土)～9月16日(月・祝)
［会期中無休］

◆第1・第2・第3展示室

「イマジュリィ」とは、イメージ図像を意味するフランス語で、本や雑誌の装幀や挿絵、ポスターやチラシといった広告、絵はがきや絵封筒、漫画など、大衆的な複製として総称されます。

①

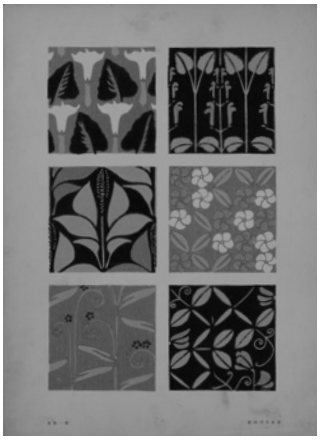
大正から昭和にかけて、印刷技術の進歩により複製技術が発達し、誰もが身近に楽しめるようになり、様々なイマジュリィが大流行しました。「大正ロマン」と呼ばれる乙女チックで抒情性漂うものや、斬新で洗練された「モダンデザイン」などが街中を彩り、中でも著名画家やデザイナーが手掛けたものは、特に人気を博しました。

本展では、藤島武二（①）や岸田劉生による本の装幀、アール・ヌーヴォー様式の橋口五葉、アール・デコ様式で活躍した杉浦非水や小林かいち、少女趣味の高畠華宵や、抒情性を帯びた美人画も描いた竹久夢二、怪奇的幻想美で異彩を放った橘小夢、古賀春江や恩地孝四郎の都市モダニズムなど、西欧の文化も交じり合ったイマジュリィの世界を、500点を超える作品で一堂に紹介します。

昭和世代には懐かしく、平成世代には新しいデザインとして目に映り、きっとその魅力に心惹かれることでしょう。会期中は関連イベントやプレゼント企画もありますので、あわせてお楽しみください。

■大正イマジュリィの13人

明治から大正に移り変わる1910年代、若者たちは親の世代（明治時代）とは異なる、新しい表現を模索します。とりわけ、1910～23年に刊行された文芸・美術雑誌『白樺』などで紹介されたヨーロッパの芸術作品は、そういった若者たちのエネルギーをより倍増させ、未来に向けた新たな芸術表現が生み出されていきました。ここでは、代表する13人の芸術家、藤島武二、橋口五葉、杉浦非水(②)、坂本繁二郎、広川松五郎、岸田劉生、富本憲吉、高畠華宵、竹久夢二（③）、橘小夢、古賀春江（④）、蕗谷虹児、小林かいち（⑤）によるイマジュリィを紹介します。


②

④

③

⑤

■様々な意匠

◆フランス語で生（生命）の跳躍（躍動）・飛翔」を意味する「エラン・ヴィタル（エラン・ヴィタール）」。すべては生命表現から始まっています。大正時代には、生きることにかかわる生の衝動として、様々な《**エラン・ヴィタルのイマジュリィ**》が誕生しました（⑥⑦）。

◆また、明治末頃から大正にかけて、ヨーロッパでジャポニズムが流行し、日本でもその影響で江戸時代を知らない新時代の若者たちによる、

江戸へのオマージュとしての浮世絵が展開されていきました。竹久夢二（⑧）・鏑木清方・小村雪岱なども《**浮世絵のイマジュリィ**》を手掛けています。

⑥

⑦

⑧

◆一方、子どもや女性に向けたイマジュリィも大きく変化します。明治時代の立身出世的子ども観が払拭され、武井武雄・加藤まさを・岡本帰一（⑨部分）・川端龍子（⑩）などによる、乙女チックやカワイイ《**子ども・乙女のイマジュリィ**》が誕生しました。

⑩

◆また、大正10年を過ぎる頃から「怪奇美」と呼ばれる独特の世界観が認められていき、ゴシックやミスティック、ポルノグラフィックなどの感覚も加わった《**怪奇美のイマジュリィ**》が生まれていきました（⑪）。

⑪

◆さらに、関東大震災以後、一時期メディアの中心が京阪に集中、特に《**京都アール・デコのイマジュリィ**》が京阪の文化を刺激し、賑わいを見せました。

◆そして関東大震災の数年後、東京は復興に向けて動きだし、今までのものとはまた違った、視覚、臭覚、味覚、触覚、聴覚などの感覚をも持った《**尖端都市のイマジュリィ**》が、世相や風俗にも図像化されていきました。これがすなわち、モダンといわれるスタイルです。

◆大正の初め、美術家たちが新しいデザインシーンを提示し、それらは画学生や美術愛好家へと広がり、やがて商業ベースとなって《**新興のイマジュリィ**》が活発に制作されました（⑫）。

◆こうした大正時代の文化運動は、演劇・音楽・映画・ファッションなど幅広い分野に波及しました。その多様さが大正イマジュリィの魅力でもあり、《**大衆文化のイマジュリィ**》となって、今日にも影響を与え続けているのです（⑬）。

⑫

⑬

《画像》①藤島武二（口絵）与謝野晶子『晶子短歌全集 第1』6版 1926年 新潮社／②杉浦非水（装幀）『非水月刊図按』第1巻第1号 1918年 金尾文淵堂／③竹久夢二（表紙）『汝が碧き眼を開け』（セノオ楽譜五六番）7版 1927年／④古賀春江（表紙）『香蘭』第9巻第1号 1931年 香蘭詩社／⑤小林かいち「絵はがきセット《灰色のカーテン》」1925～26年頃／⑥津田清楓（装幀）夏目漱石（金之助）『道草』13版 1919年 岩波書店／⑦恩地孝四郎（装幀）多田不二『多田不二詩集 悩める森林』1920年 感情詩社／⑧竹久夢二（表紙）『春の雨』（新小唄第二編）1916年 現代堂／⑨岡本帰一（挿画）《兎のダンス》野口雨情 詩『コドモノクニ』3巻5号 1924年 東京社／⑩川端龍子（表紙）『少女の友』第8巻第1号《はね兎》1915年 実業之日本社／⑪水島爾保布（装画）谷崎潤一郎『人魚の嘆き・魔術師』再販 1919年 春陽堂／⑫作者不詳《国際懸賞募集ポスター之内 佳作》カルピス製造株式会社 1924年／⑬AZU『カジノフォーリーレヴュー舞踏団第42回公演』1929年 浅草水族館

本展関連イベント♪

◆オープニングセレモニー&ギャラリートーク
日時：8月3日（土）
セレモニーは午前10時～約30分
※セレモニー参加者には、本展オリジナルコースターをプレゼントします♪
※セレモニー中ご観覧希望の方は、しばらくお待ちいただくか、逆回りで展示室にお入りいただきますのでご了承ください。
★セレモニー終了後、本展監修者・山田俊幸氏によるギャラリートークを開催します。

◆〝ゆかた〟でミュージアム♪
★ゆかたや着物でご観覧の方に、本展オリジナルコースターをプレゼントします♪

◆大正ロマン&モダンぬりえ
★出品作品のぬりえが楽しめます。あなたは乙派？モダン派？悩んだら2枚描こう！
※満席の時は、お待ちいただくこともございます。

◆記念撮影コーナー
★大正時代の雰囲気に溶け込んで、タイムスリップしよう。
※全て参加無料。ただしセレモニー以外、高校生以上の方は観覧券が必要です。
※詳細は当館HPやチラシをご覧ください。

◇観覧料

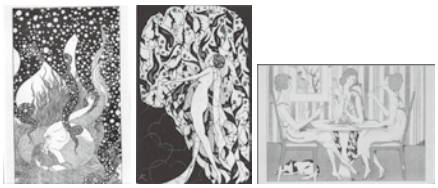
	個人	団体
一般	800円	700円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

◇◆ミュージアムショップのお知らせ◆◇

ミュージアムショップコーナーでは「大正ロマンとモダンデザイン～大正イマジュリィの世界～」関連グッズを販売します。大正時代に活躍した竹久夢二、高畠華宵、小林かいち、杉浦非水ら作家のデザインを配したオリジナルポストカードをはじめ、付箋、マスキングテープ、がま口財布や御朱印手帳までいろいろと取り揃えてお待ちしております。また友の会会員さまには一部割引商品もございます。ぜひ、お立ち寄りください。（表示価格は税込価格です）

付箋紙　￥432


オリジナル
ポストカード　￥108～￥162

御朱印帳　￥1,944
友の会会員　￥1,749

がま口財布　￥864

マスキングテープ　￥540

ティールームからのお知らせ

展覧会を楽しんだあとは、ティールームでゆっくりおくつろぎください。

《夏季限定メニュー》

『かき氷』

最近人気がある〝つめた～いかき氷〟で涼みませんか？
【いちご】【ブルーハワイ】【宇治金時】【ミルク金時】
4種類から選べます。《期間9／16まで》

「大正ロマンとモダンデザイン」

8／3から開催の「大正ロマンとモダンデザイン」では昔なつかしのメニューが登場!!
さらに、限定メニューをご注文のお客様には展覧会限定コースターをプレゼント♪
乞うご期待！　《期間8／3～9／16》

★友の会会員の皆様
会計時にレジにて会員証をご提示いただくと10％割引になります。（10円未満切捨）

ボランティアさん募集♪

現在45名の皆さんが楽しく、無理なく活動しておられます。お客様が鑑賞しやすいように目配りしていただき、時にはマナーについての声掛けなどもしていただきます。
興味・関心のある方、どうぞお気軽にお問合せください。
場所：七尾美術館展示室内
活動時間：9時～13時、13時～17時（半日交替）

七尾港開港120周年　第78回七尾港まつり協賛

「池田コレクション・シンフォニー」

6月29日(土)〔開催中〕～7月28日(日)

◇第1・第2展示室

※本記事掲載作品は全て「池田コレクション」です。

「令和元年」の「池田コレクション」

元号が「平成」から「令和」と改まりはや二ヵ月。ちまたで「令和」の文字をみるのも、そろそろ慣れてきたころではないでしょうか。しかし気づけば今年もすでに半分の月日が経過。どうやら「令和元年」はあっという間に終わりそうで、何がなし気も心も「そぞろ」です。

さて、昨年の夏は記録的な「猛暑」で、連日の暑さにうんざりする日々でした。今年もいよいよ夏本場を迎えつつありますが、あのうだるような暑さの再来を思うにつけ、どうしても気が滅入ってしまいがち。

そこで、今回が「令和初」となる当館7月期恒例の「池田コレクション展」では、せめて目で涼しさを感じていただこうと、「涼しげな美術」と題した特集展示を設けました。

外が厳しい暑さの折だからこそ、空調が効いた展示室は格別で、例えるならば「砂漠の中のオアシス」のごときもの。ぜひともご来館くださり、快適な環境の中で涼感豊かなそれぞれの作品を、心ゆくまでご鑑賞ください。

暑さで夏バテ気味の皆さま方の心も体も、きっと癒されるのではないでしょうか。

「納涼美人図」
宮川長春

改めて「池田コレクション」とは

現在当館が所蔵する作品はあわせて750点ほど。絵画や彫刻・工芸・書や写真など、様々なジャンルの多彩な作品で構成されています。そしてそのうち約4割を占め「中心核」となっているのが「池田コレクション」なのです。

「池田コレクション」は、七尾市出身の実業家・池田文夫氏（1907～87）が生涯をかけて蒐集した美術工芸品です。

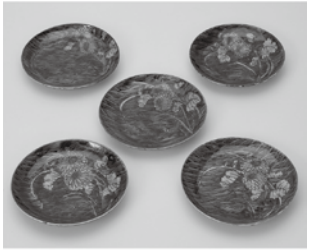
若年時より紡績を志した池田氏は、戦後間もない昭和23年（1948）に岐阜県大垣市で紡績会社を設立。以降中部地方きっての経済人として、広範な分野で幅広く活躍しました。七尾市・大垣市双方の産業文化発展にも大いに寄与。その功績から大垣市の産業功労賞を受賞、そして七尾市の名誉市民にも推挙されました。

そんな氏が惜しみない情熱を投入したのが「美術品蒐集」でした。その対象は古今東西の広きにおよび、若年時より数多の作品を求めています。

そして氏没後の昭和63年。ご遺族より計125点の作品が七尾市に寄附され「池田コレクション」と名付けられました。なお当時、七尾市には美術品を所蔵・展示する施設がなかったことから、この寄附が当館建設の大きなきっかけとなったのは特筆されます。

まさに「池田コレクション」は、当館の「バース・ペアレント」といえるでしょう。

「織部舟人物図茶碗」



「青手波に菊図丸小皿　古九谷」

今回の展示ラインナップ

125点の品ぞろえで誕生した「池田コレクション」。その後も池田家皆さまのご厚意により、節目ごとに追加の寄附が行われました。

そして現在、コレクションはあわせて289点。日本美術を中心とし、池田氏出身地の石川県および活躍地の岐阜県にゆかりの美術工芸品が多くみられます。主に茶道具によって構成されつつも、肉筆浮世絵や近現代作家による日本画や彫刻なども加わった、実に幅広い内容となっています。

そこからは、池田氏の優れた鑑識眼と美術品への深い愛玩のみならず、氏のひととなりを感じることができるでしょう。

本展で展示されているのは、同コレクションより選抜された計54点。既述のごとく今回はやきものや絵画などから「涼しげな雰囲気の作品」25点をセレクト、ひんやりとした質感の陶磁器や水をテーマにした日本画などを展示中です。

加えて「根来」をはじめとした漆工なども紹介しており、これら多彩な作品群をとおして、コレクションから奏でられる「優雅かつ妙なる旋律」を感じ取っていただければ幸いです。

「金魚図」大橋翠石

「根来春日卓」

◇観覧料

	個人	団体
一般	350円	280円
大高生	280円	220円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

「長谷川等伯展」をおえて…
～担当学芸員のつぶやき～

今年も4月27日から5月26日まで、当館恒例の「長谷川等伯展」を、ちょうど30日間の会期で開催しました。

本展では「大画面作品」をテーマに計21点の作品や資料を紹介。大画面ということで、今回は51歳以降「等伯時代」の水墨画が主要を占めました。屏風や襖などの大画面が展示室を埋めた様子は、実に壮観のひとこと。

それにしても今年、特に印象深かったのが「遠方からの来館者の多さ」です。北は北海道から南は九州まで、よくぞと思わんばかり。中には奈良から自家用車ではるばる駆けつけてくださった方もおられ、思わず胸が熱くなりました。

まさに「等伯人気、いまだ健在なり」で、等伯がたくさんの皆さまに愛されているのだということを、改めて目の当たりにした思いです。

4月29日に開催された「特別講演会」では、河合正朝先生（千葉市美術館館長）にご講演をいただきました。等伯と本格的に向き合うのは久方ぶりとのことでしたが、お話しからは先生の等伯に対する熱い思いがひしひしと感じられました。

これだけ多くの人びとを魅了してやまない等伯。その展覧会を担当する責任の大きさを痛感しつつも、とりあえず今年の展示を無事終えたことに心底ホッとする今日この頃。

今回も作品所有者や河合先生、そしてご鑑賞いただきました皆さまなど、多くの方々から格別なご配慮を頂戴しました。心より御礼申し上げます。

貸館催し物案内

市民ギャラリー

第24回七尾日創展

7月4日（木）～7日（日）

初日は午後1時から、最終日は午後4時まで

公募により県内外から出品された日本画を中心とする絵画約60点を展示します。若さあふれる作品からベテランの充実した作品まで、個性あふれる作品をお楽しみください。

主　催　日創会
連絡先　三宅厚史　☎0767(77)1368

無料入場

七尾港開港120周年記念 第78回七尾港まつり協賛 第25回七尾美術作家協会展

7月12日（金）～15日（月・祝）

最終日は午後4時まで

今回は、「七尾港開港120周年」という事で、当協会では「新たな旅立ち」をサブテーマに掲げ、多くの方々に関心を持っていただく事を願い、会員各自できる限りの作品を発表したいと思っています。

皆様のご来館をお待ちしています。

主　催　七尾美術作家協会
連絡先　会長　三藤観映　☎0767(52)4051

無料入場

第25回七尾高校同窓美術会展

9月21日（土）～23日（月・祝）

最終日は午後4時まで

第25回目となる七尾高校同窓美術会展は、創立120周年を迎える今年、七尾美術館で開催し、同窓生、在校生合わせて約70人が近作を展示いたします。ご来場ご高覧をお待ちしております。

主　催　七尾高校同窓美術会
連絡先　事務局　今井覚　☎0767(53)3155

アートホール

第6回チャリティコンサートin七尾

8月18日（日）　開演　午後2時

第6回北國文化センターやさしいシャンソン教室の発表会。動物愛護のチャリティです。ゲストに椿れいさん出演。楽しく歌のジャンルこえ皆様とご一緒に歌いましょう。

入場料　1，000円
主　催　北國文化センター七尾教室
連絡先　薮内ようこ　☎090(2037)5237

無料入場

第12回メロディーパレット 石田ゆかり門下生ピアノ発表会

9月15日（日）　開演　午後1時

自分色の個性をピアノ演奏に。真っ白なパレットの上にのせられた沢山の色、そして様々な色と出会い混ざり合う大切な発表会。ピアノソロ、連弾、歌、様々な音色をどうぞお聴きください。

主　催　石田ゆかり門下生
連絡先　石田ゆかり　☎0767(53)4628

FLAMENCO LIVE EN 七尾 MI MANERA

9月23日（月・祝）開演　午後5時30分

スペイン、アンダルシア地方の文化・芸術であるフラメンコを、東京よりアーティストを招き、地元七尾と金沢で活動している仲間と共に、踊りだけでなく、歌もギターも生演奏でお届けします。

入場料　3，800円
主催・連絡先　山本純子フラメンコ教室
スタジオ・ラス・マリスマス
☎090(4337)3825

第20回石川県七尾美術館友の会「鑑賞の旅」のご案内

参加者大募集!

日帰り

京都国立近代美術館

「円山応挙から近代京都画壇へ」展と 金地院特別拝観、南禅寺を巡る旅

今回の鑑賞の旅は、京都国立近代美術館で開催される展覧会「円山応挙から近代京都画壇へ」展を鑑賞します。江戸時代、応挙は狩野派の粉本主義から脱却し、写生を重視した新しい画風で人々を魅了しました。少し遅れて、与謝蕪村に俳諧や文人画を学んだ呉春が瀟洒な画風で四条派という一流派をなします。応挙の円山派と呉春の四条派は四条円山派として近代京都画壇の中心をなす流派となりました。本展では応挙の代表作「松に孔雀図襖」（兵庫県・大乗寺）から竹内栖鳳、上村松園までの京都画壇の流れをご覧いただきます。

また、金地院では小堀遠州作の特別名勝・枯山水の「鶴亀の庭」に加え、特別拝観により長谷川等伯筆の襖絵「猿猴促月図」、「老松図」、遠州作の茶室「八窓席」を解説付きで見学します。

見学後は南禅寺を自由散策。木々が色づく京都の秋を思い思いにお楽しみください。

皆様のお申込みをお待ちしております。

◆ **日　　程**　**11月6日（水）**【貸切バス利用】 6:00出発　21:30頃帰着予定

◆ **見 学 地**　京都国立近代美術館、金地院、南禅寺界隈

昼食は湯豆腐付

◆ **参 加 費**　**13,000円**（税込み）

※バス代・拝観入館料・昼食代・旅行傷害保険料込。

※友の会会員以外の方は上記参加費に1,000円加算となります。

◆ **定　　員**　**先着23名**（対象は原則として成人）

◆ **募　　集**　**8月3日（土）～ 10月11日（金）**

（定員に達し次第締め切り）

※最小催行人数18名。

人数に達しない場合は中止させていただきます。

◆ **申込方法**　参加費をご持参のうえ、当館受付までお越しください。

京都国立近代美術館外観

（撮影：四方邦熙）

七尾美術館公式SNSのご案内

本年4月より、公式 Facebook ページと、公式 Twitter ページを開設しました。
従来のホームページには無い、以下の内容を中心に随時発信しています。ぜひ、いいね!やフォローしていただき、最新情報をチェックしてください。

1. 展示風景や観覧風景、イベントの情報
2. アートホールや市民ギャラリーの催し物情報
3. 美術館周辺の話題
4. 休館日の案内、悪天候による臨時休館、駐車場の混雑状況

などをお知らせします。

Facebook：https://www.facebook.com/NanaoArtMuseum
Twitter：https://twitter.com/NanaoArtMuseum
アカウント：@NanaoArtMuseum

スマホのカメラを起動して、画面にQRコードを入れれば、簡単にアクセスできます。

これからの展覧会予定

2019年9月21日(土)～10月20日(日)

◆第２展示室　「名品がかたる－能登の美術」

奈良時代の養老２年（718）に誕生した能登国。その後長い歴史を重ね、昨年には「能登立国 1300 年」を迎えたことは記憶に新しいところです。

およそ 1300 年前より「令和」の現在に至るまでこの方、能登には数多くの美術工芸が栄枯盛衰を繰り広げてきました。そして現在、地域の各所に伝来する貴重な文化財や今も新たに制作され続けている作品などからは、能登という地域ならではの優れた芸術文化を感じることができるでしょう。

本展では当館所蔵品および寄託品を中心に、能登ゆかりの古今の美術を絵画や工芸などをとおして紹介。もちろん能登七尾出身で桃山時代に大活躍した絵師・長谷川等伯（1539 ～ 1610）や「長谷川派」の作品も展示予定です。

同時開催：「茶道具とりどり」（第１展示室）

「山水図」
長谷川信春(等伯)

2019年11月1日(金)～12月8日(日)〈会期中無休〉

◆第１・２・３展示室

2019イタリア・ボローニャ国際絵本原画展

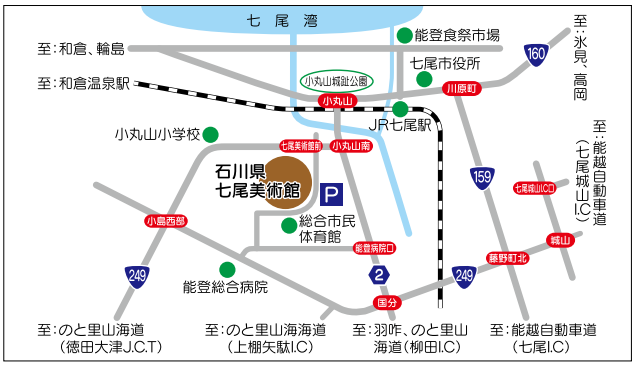
毎春、イタリアの古都ボローニャで開催される児童書専門の国際見本市「ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア」。会場では版権が売買され、新たな児童書の企画が生まれています。このブックフェアに伴い実施されるイラストレーションのコンクールには世界中から応募があり、今年は62ヵ国2,901組の作品から日本人10名を含む27ヵ国76作家が選ばれました。

「ボローニャ国際絵本原画展」ではコンクールの入選作品を紹介します。５枚１組で構成される作品はバラエティ豊かで個性に溢れています。また、特別展示は昨年の入選作家から選ばれた「ボローニャ･SM出版賞」受賞者のヴェンディ・ヴェルニッチ（クロアチア）と、今年のブックフェアのメインビジュアルに起用されたマーシャ・チトワ（ロシア）です。その他、ボローニャ・ラガッツィ賞受賞絵本など海外の絵本も多数展示します。

「すばらしいオーケストラ」
ガイア・ステッラ（イタリア）

プレミアム・パスポート
子育てにやさしい店
割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。

無線でネット
FREESPOT
エントランスホール及びティールームにて、Wi-Fiスポットサービスの「FREESPOT」をご利用頂けます。



飛行機……のと里山空港から「のと里山海道」利用約45分
車……「のと里山海道」徳田大津J.C.Tから約15分又は「能越自動車道」七尾城山I.C又は七尾I.Cから約10分
タクシー…JR七尾駅から約５分
徒歩……JR七尾駅から約20分
市内循環バス「まりん号」
……JR七尾駅前「ミナ.クル」バス停から「七尾美術館前」下車（順回り約8分･逆回り約14分、1日各8便）
ななおコミュニティバス「ぐるっと７」
……JR七尾駅前５番乗り場から「小丸山台１丁目」下車（西コース約10分、１日４便）

◎次号・第99号（秋号）は10月１日発行予定です。

日	月	火	水	木	金	土	2019
	1	2	3	4	5	6	7 July
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3	8 August
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	9 September
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

◆7月～9月カレンダー◆　※■は休館日
◆開館時間◆　午前9時～午後5時
（入館は午後4時30分まで）

〒926-0855　石川県七尾市小丸山台一丁目1番地
TEL(0767)53-1500／FAX(0767)53-6262
http://nanao-art-museum.jp